

あるレストランへ行き朝食をとった。このホテルでは噂通り、欧米系の外国人が多く食事をしている。約束の時間が来たので、荷物を取って一階に戻ると市政府の周さんが迎えに来てくれていた。チェックアウトし、用意された車で7時5分、ホテルを後に一路、上海へ向かった。

利用する高速道路は「沿海高速道」である。塩城市から上海へ行くにはこの高速道路を使う。地図を見ると海側に近い。高速道路では一回休憩したが、走行中に見える農家の風景がたまたまよくい景色である。カメラのシャッターを何度も押した。



上海の高速出口までは順調に車は走行し10時半頃に料金所を通過した。ところがこの後から大問題が発生したのである。車は渋滞し思うように走らない。時計を見ることばかりで内心、不安になってきた。

本当に11時に上海浦東空港に到着するのか？ 道路は相変わらず渋滞している。時間が11時半になったが上海浦東までまだ72キロと



表示されている。出発便は13時5分である。周さんもかなり気にしてくれていて運転手をせかしていた。だんだん心が焦ってきた。時計は既に12時である。出発の時刻まで約1時間となり、本当に大丈夫かと車の後部座席に座ってられない。浦東空港が見えてきたときは既に12時半、もうギブアップしたい。しかし、この飛行機に乗れなかったらどうしようかとも思った。

車は車間をうまく飛ばしながら走行し、空港へは12時40分に到着、荷物を持ち周さんと走って搭乗カウンターへ行った。南方航空のカウンターは既に締め切っていたが交渉し、搭乗券を貰った。しかし大きな荷物は拒否され、しぶしぶ手荷物検査場へ向かったが予想通り、荷物の中にある白酒（塩城市人民政府から貰った）と日本から持ってきたシャンパーセットは拒否された。飛行機が離陸するまで時間がない。係官と揉めたがあきらめ、白酒2本とシャンパーセットは見送りに来てくれた周さんに預けた。どうなってもよいと判断し、急いで登場口へ向かった。

しかし搭乗口まではかなり遠く、しかも重い大きなトランクと一緒にいるので、思うように走れない。途中でトイレへ行き少し気持ちを落ち着かせ、やっと搭乗口57番へ着いた。57番口はT2ターミナルの一番端にあった。

南方航空機にトランクと一緒に搭乗したら、女性客室乗務員から拒否された。ここで再度揉めたのである。しばらくして中国人男性地上係員が来て、このトランクを機材のカーゴに入れると言ってくれ、この係員に渡し、やっと自分の席に座った。胸が苦しい、暫く吐く息も荒らしかった。時間は出発時間の10分前、つまり12時55分であった。

南方航空便の出発時間は13時5分である。時間になっても動かない。中国国内線は定刻に出発したためしがないので、その後動くだろうと思っていた。隣の東方航空機は動き始めた。

結果的に、上海浦東空港を離陸したのは14時50分で、約45分遅れで一路大連空港へ向かった。